

令和2年度北区立浮間小学校 自己評価報告書

令和3年2月26日
校長氏名 宮崎 史隆

1. 自己評価の結果

学校評価は、12月に保護者、1月に児童、教職員を対象として実施した。学校評価結果の表記は、A（よく当てはまる）B（当てはまる）C（あまり当てはまらない）D（まったく当てはまらない）として、各表に割合（％）で表している。

児童アンケート項目					
No	内容項目	A	B	C	D
1	学校へ行くのが楽しい	59	33	6	2
2	自ら進んで勉強している	41	43	14	2
3	学習していることがよく分かる	59	33	7	1
4	クラスが変わっても、友達と仲良く勉強したり遊んだりしている	76	17	5	2
5	学校の勉強は、楽しくて、分かりやすい	59	33	7	1
6	朝の浮間タイムで、勉強を頑張っている	44	39	12	3
7	朝読書・お話し会・読み聞かせ・読書月間などで、本をたくさん読んでいる	49	32	14	5
8	楽しく外国語活動の時間（英語）の勉強ができた	56	30	10	4
9	プロジェクトや書画カメラを使った授業は分かりやすい	75	18	5	1
10	先生は自分や友達が困ったときに、話を聞いてくれる	69	24	6	1
11	いつもあいさつや正しい言葉づかいをしている	46	42	8	4
12	道徳の勉強で教えてもらったことを自分でやろうとしている	44	34	17	5
13	U E Tは楽しく取り組んでいる ※今年度は実施しませんでした				
14	桜草、うきうき池、うき山、畑や花だんなどの活動は、浮間小学校がじまんでできることだと思う	79	14	4	3
15	全校オリエンテーリング、集会活動、たてわり班の活動は楽しく、友達も増えている	49	32	14	5
16	学校の中や外に、はったり、かざったりしてある物は、よく見ている	49	29	15	7
17	先生は、よく分かる授業をしてくれる	70	24	5	1
18	先生は、小さなことでも気付いて、ほめたり注意したりしてくれる	66	26	5	1
19	総合的な学習の時間では、興味をもって問題を解決していく授業を進めてくれる ※3年生以上	60	30	8	2
20	先生は細かいところまで気付き、ほめたり注意したりしてくれる ※3年生以上	65	26	8	1

保護者アンケート項目					
No	内容項目	A	B	C	D
1	お子さんは、授業に意欲的に取り組んでいる	33	50	12	2
2	お子さんは家庭学習に意欲的に取り組んでいる	26	43	24	5
3	お子さんは、学習用具の準備を自分から行うことができる	33	40	20	6
4	お子さんは学校に喜んで登校している	50	36	10	2
5	お子さんは、学校や学級でよい友達関係を築いている	42	47	8	1
6	お子さんは、あいさつやよい言葉づかいが身に付いている	18	54	23	3
7	お子さんは、食事や睡眠などに気を付けて、規則正しい生活をしている	34	46	16	2
8	お子さんは、運動を通して体力を向上させている	31	42	22	3
9	お子さんは、手洗いやはみがきなど、健康に気を付けて生活している	47	44	6	1
10	学校は、お子さんにとって分かりやすい授業を行っている	32	55	6	1
11	学校は、お話し会・読み聞かせ・読書月間などを通して、充実した読書指導を行っている	35	50	9	1
12	学校は、桜草栽培・うきうき池・うき山・学年園・棚田などを活用し、効果的な教育活動を進めている。	44	46	4	0
13	学校は、授業・学級活動や人権教育などを通して、児童の道徳性を高めている。	26	60	5	2
14	学校は、たてわり班活動などの異学年交流や通常学級と特別支援学級との交流を通して、さまざまな人との関わりを深め、児童同士の交流を図っている。	37	52	5	1
15	学校は、集会活動・クラブ活動・縦割り班活動などを通して、児童の自主性や協調性を高めている。	30	57	6	1
16	学校は、体育の授業や運動会を通してお子さんの体力作りを進めている。	34	58	4	1
17	学校は保健指導を通してお子さんの心と体の健康づくりを進めている	30	57	7	1
18	学校は給食指導や食育の学習を通して、お子さんが正しい食習慣を身に付けられるように指導している。	42	50	3	1
19	学校は、お子さんのことを理解し、児童相互のトラブルや悩みなどに対し、適切な指導を行っている。	26	54	9	2
20	学校は、保護者からの教育的な相談や指導上の要望に適切に対応している。	27	56	6	2
21	学校は個人面談や保護者会を通して、お子さんの学習や生活の様子、学校の状況を分かりやすく伝え、保護者との協力関係を築いている。	35	52	7	2
22	学校はホームページや学校・学年・保健・給食だより等を通して、学校の取り組みや子供たちの様子をよく伝えている。	36	51	9	1
23	学校は、通知表を子供の学習・生活状況がよくわかり、励ましの資料になるように作成している。	34	53	9	1
24	学校は体育館や校庭は整備し、施設の安全を確保している。	42	49	5	1

教職員評価項目					
No	内容項目	A	B	C	D
1	児童は、学校に喜んで登校している。（全体を見て）	47	53	0	0
2	児童は、意欲的に学習に取り組んでいる。	33	63	3	0
3	児童は、基礎的・基本的な学習内容が身に付いている。	7	80	13	0
4	児童は、学級や学校内での人間関係がよくなっている。	30	67	3	0
5	児童が楽しく分かりやすい授業にしている。	17	80	3	0
6	朝の浮間タイムを計画的に実施し、充実させている。	21	69	10	0
7	図書館指導（朝読書、お話し会、読み聞かせ、読書月間などを含む）は計画的に実施している。	41	55	0	3
8	外国語活動は、ねらいに沿って計画的に実施している。（ALT）	31	55	10	3
9	タブレット端末やインターネットなどを活用した情報教育やICT教育機器を活用した授業を計画的に実施している。	20	50	30	0
10	児童のことを理解し、個に応じた指導をしている。	37	63	0	0
11	挨拶や言葉遣いについては、常に指導し、効果を上げている。	10	67	23	0
12	道徳の授業は、計画的に実施し充実している。（教科書、「心しなやかに」の活用）	25	68	7	0
13	特別支援教育の体制や研修は、充実している。	30	63	7	0
14	保健指導は、計画的に実施している。	52	48	0	0
15	体育の授業は、計画的に実施している。	43	57	0	0
16	一校一取り組みは体力向上の効果が出ている。	0	28	60	12
17	給食指導や食育の学習は、計画的に実施し効果を上げている。	28	62	10	0
18	安全に関する指導は、児童の現状を踏まえ計画的に実施し徹底できている。	35	62	3	0
19	桜草の栽培、うきうき池、うき山、学年園等を活用した学習を計画・実施している。	24	62	3	10
20	全校遠足、集会活動、たてわり班遊びなどの縦割り班活動は、児童の自主性や協調性、人間関係づくりにより影響を与えている。	21	46	32	0
21	地域を活用し、保護者・地域や外部の人とかわる授業を、計画・実施している。	5	15	80	0
22	学校・学年・保健・給食等の便りは、学校の活動や児童の様子を伝えている。	55	45	0	0
23	個人面談や懇談会では、児童個々の状況や学級・学年の様子を適切に伝え、保護者との共通理解・協力体制を図ることができている。	45	55	0	0
24	学校ホームページは計画的に更新され、学校の情報や様子を提供している。	40	57	3	0
25	保護者や地域からの相談や要望等には、迅速、組織的に対応している。	63	67	0	0

2. 自己評価の分析

○児童の満足度が高い評価項目

- ・学校へ行くのが楽しい(項目1 92%)
- ・クラスが変わっても、友達と仲良く勉強したり遊んだりしている(項目4 93%)
- ・先生は自分や友達が困ったときに、話を聞いてくれる(項目10 93%)
- ・桜草、うきうき池、うさ山、畑や花だんなどの活動は、浮間小学校がじまんでできることだと思う(項目14 93%)
- ・学習していることがよく分かる(項目3 92%) ・学校の勉強は、楽しくて、分かりやすい(項目5 92%)
- ・プロジェクトや書画カメラを使った授業は分かりやすい(項目9 93%)
- ・先生は、よく分かる授業をしてくれる(項目17 94%)

○保護者の満足度が高い評価項目

- ・お子さんは、手洗いやはみがきなど、健康に気を付けて生活している(項目9 91%)
- ・学校は、桜草栽培・うきうき池・うさ山・学年園・棚田などを活用し、効果的な教育活動を進めている。(項目12 90%)
- ・学校は、体育の授業や運動会を通してお子さんの体力作りを進めている。(項目16 92%)
- ・学校は給食指導や食育の学習を通して、お子さんが正しい食習慣を身に付けられるように指導している。(項目18 92%) ・学校は体育館や校庭は整備し、施設の安全を確保している。(項目24 91%)

○教職員の満足度が高い評価項目

- ・児童は、学校に喜んで登校している。(全体を見て)(項目1 100%)
- ・児童のことを理解し、個に応じた指導をしている。(項目10 100%)
- ・学校・学年・保健・給食等の便りは、学校の活動や児童の様子を伝えている。(項目22 100%)
- ・個人面談や懇談会では、児童個々の状況や学級・学年の様子を適切に伝え、保護者との共通理解・協力体制を図ることができている。(項目23 100%)
- ・保護者や地域からの相談や要望等には、迅速、組織的に対応している。(項目25 100%)

●児童の評価が不十分だった(改善を要する評価)項目

- ・道徳の勉強で教えてもらったことを自分でやろうとしている。(項目12 ▲22%)
- ・学校の中や外に、はったり、かざったりしてある物は、よく見ている。(項目16 ▲22%)

●保護者の評価が不十分だった(改善を要する評価)項目

- ・お子さんは、食事や睡眠などに気を付けて、規則正しい生活をしている(項目2 ▲29%)
- ・お子さんは、学習用具の準備を自分から行うことができる(項目3 ▲26%)
- ・お子さんは、あいさつやよい言葉づかいが身に付いている(項目6 ▲26%)
- ・お子さんは、運動を通して体力を向上させている(項目8 ▲25%)

●教職員の評価が不十分だった(改善を要する評価)項目

- ・タブレット端末やインターネットなどを活用した情報教育やICT教育機器を活用した授業を計画的に実施している。(項目9 ▲30%)
- ・挨拶や言葉遣いについては、常に指導し、効果を上げている。(項目11 ▲23%)
- ・一校一取り組みは体力向上の効果が出ている。(項目16 ▲72%)
- ・全校遠足、集会活動、たてわり班遊びなどの縦割り班活動は、児童の自主性や協調性、人間関係づくりにより影響を与えている。(項目20 32%)
- ・地域を活用し、保護者・地域や外部の人とかかわる授業を、計画・実施している。(項目21 ▲80%)

3. 改善の方策(評価は4を最上位として4段階で表示)

①学習面 自己評価3

授業改善を進め基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現をカリキュラムマネジメントの推進により実現する。浮間中学校SFで指導方法を研究する。GIGAスクール構想を着実に推進することにより、ICT機器を活用して児童の興味関心を高め、個々の学習課題を明確にしたうえで家庭と連携して家庭学習の定着化を図る。授業における教師と児童、児童同士のかかわり合いの場を整え、自分の思いや考えを進んで表現することができる児童の育成を図る。

②生活面 自己評価3

新型コロナウイルス感染症対策や防災教育を見直して自分の命と健康を守ることができる児童、SNS浮間小ルールを基にゲーム等を適切に楽しみつつ主体的に基本的な生活習慣を確立(早寝・早起き・朝ごはん)することができる児童を育成する。教育活動全体を通してあいさつや思いやりのある言動や規範意識の大切さについて指導し、家庭や地域と連携して取り組み健やかな心身の育成を図る。特別活動や体育的行事を工夫して体力の向上を図る。

③特色ある教育活動の推進 自己評価3

特別支援学級(知的)と通常学級との交流を進め互いのよさを理解させるとともに療育機関などと連携して保護者の啓発を図る。さくら草栽培活動やうさ山・うきうき池・棚田・学年園を活用した活動は、児童の人格形成に資するところである。学年ごとの成果をまとめ北区環境展に出展する。うきま里山が持続可能な活動となるように保護者・地域と連携する。青森県東通村との交流を継続して行う。

④特別の教科である道徳(道徳科)の充実 自己評価3

児童が道徳的価値項目を自分事としてとらえ進んで実行しようという意識をもつことができるよう道徳の授業改善を図る。児童の発達段階に即して計画的・発展的に行われるように年間指導計画を見直す。また道徳授業地区公開講座などで保護者、地域の皆様と共通認識を図る。

⑤地域人材・外部人材の活用 自己評価2

地域人材を活用して、桜草や万垢離等の浮間地区の歴史と伝統を学ぶ機会を設け、児童に地域を愛し誇りをもたせる。さらに外部人材を活用してそろばんや習字等の学習指導や体育的な活動、法教育、セーフティ教室、人権教育等について視野を広げ児童の課題に応じた取り組みを行う。